

鶴が丘 だより

年のはじめに

創立45周年を迎えて
院長 後藤 晶子

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。ここ東京では、青空の広がる穏やかな新春を迎えました。皆様清々しい新年をお迎えのことと存じます。日頃は病院の運営にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。



改めて今年目に想う

当院は昭和46年4月に開院しました。当時はライシヤワー事件後、長期入院が中心の医療が推進され、精神科病院が乱立しました。この流れの中で、敢えて

「患者様の社会復帰」を理念の中心に掲げたのが当院です。半世紀近くを経た今もそのDNAは変わりません。しかし人口減少、高齢化等日本の抱える問題が移り変わり、医療費削減、入院医療の縮小等、当院も岐路に立たされています。

◆樋口輝彦先生を迎えて

昨年4月より赴任された樋口先生は、これまで国立精神神経センターの総長であった日本の精神医療の第一人者です。同時に当院の懐かしいOBでもあります。



先生は開院時より約10年に渡り診療に携われ、その後も折に触れて関わり続けて下さっています。ちなみに私が先生に初めてお会いしたのは3歳の頃でした。また著書の中で、当院の変遷が日本

の精神科医療を凝集していると言われたこともあります。この時期に病院の良き理解者である先生の「ご協力」を得られるのは大変心強いことです。

現在先生は専門外来を担当されています。セカンドオピニオンを含め対応して下さいます。治療について幅広く意見を求めたい方は、当院までお問い合わせ下さい。

◆新たな時代に向けて

こころの医療は、国民の幸福度に直結すると思えます。なぜなら私達の医療は、「より良く生ききる」ための医療だからです。病気が好きな人はいません。しかし治療を通じて出会いは心温まる人との絆を感じられるものであつて欲しい。そして生きる力を蓄え安定した充実した人生を歩んで頂きたい。



ある日の
鶴が丘

スタッフリレー!

鈴木所長(医師)

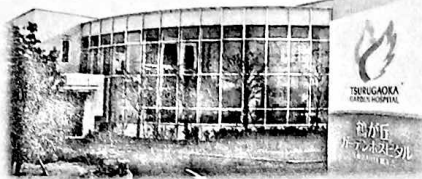


医師となり45余年、前永田院長にお声かけいただき、当院に勤務してか、昨年20周年を迎えました。これも、皆さまの温かいご支援の賜物であると感謝しております。このご縁を大切に、これからも診療を行って参ります。引き続きよろしくお願いします。

◎ニころの「応急手当」
 人は嫌な思いを繰り返してしまおうというニころの癖があります。
 この反すう思考の衝動を止めるため、「2分間でよいので、何か思い切り違うことを考える」ことをアメリカの心理学者がイ、ウインチは提唱しています。例えばスポーツや映画など。注目すべきは携帯電話のゲームでむよいという事です。
 面白いですね。

今年には新たに急性期病棟医師配置加算16対1を導入し、さらに訪問診療への準備を行います。
 入院初期により手厚い治療を行い早期の退院をめざし、日常生活の質の向上を支援したいという願いです。
 これからもおひとりおひとりの患者様を大切にしながら、今後より求められる医療を、柔軟に模索していく所存です。

◎高齢の「ご家族様へ」
 昨年タイのプミポン国王が88歳で逝去されました。過去16回のクーデターがありながら国家が平穏に維持できたのは、「国民の父」と呼ばれた国王が70余年にわたり在位し、国政を見守り続けたからだと言われています。
 患者様にとって「ご家族が元気に暮らしているのが何よりの心の支えです。年令を案じ、何かをしなければと焦る方も多いですが、まずはご自身の体調を第一に、そして心配なことがあればお気軽に



また一番のニころの敵は「孤独感」であるとも説いています。

◎最後に「病院理念」
 「敬天愛人」が基本理念です。
 私たち、鶴が丘ガーデンホスピタル職員は、
 ・ニころ病める人と共に歩み、安心と安らぎのネットワークを作ります。
 私たちは
 ・人の心身を癒す天職に誇りと畏れをもって勤めます。
 ・患者様の人権を尊び、努力して新しい良質な精神医療、看護、福祉を提供します。
 ・ご家族、地域社会とスクラムを組み、患者様が再び社会の中でご自分らしく生きがいを持って暮らせるお手伝いをします。
 ・この実践により、私たち自身も自己実現をはかります。

病院相談室へご相談下さい。



医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル
 TEL: 044-988-3121
 東京都町田市三輪線山2-2133-1
 長津田いこいの森診療所
 TEL: 045-507-7656
 神奈川県横浜市緑区長津田 4-11-14

① ひとりで悩むな
 みんなも同じ

② 笑顔見せれば
 言葉はいらぬ

③ 失敗するの
 芸のうち

④ 身のほど知れば
 いろいろしない

今月の...
 いろいろカルタ
 ?お正月増刊版?